



殿

# 仕様書

仕様書No. NWSP24-6700E-01D

環境対応 100/1000BASE-X/X SFP対応  
リモート監視機能付 メディアコンバータ  
DN6700E (Rev:D以降)

2024年 4月

## 1. 適用範囲

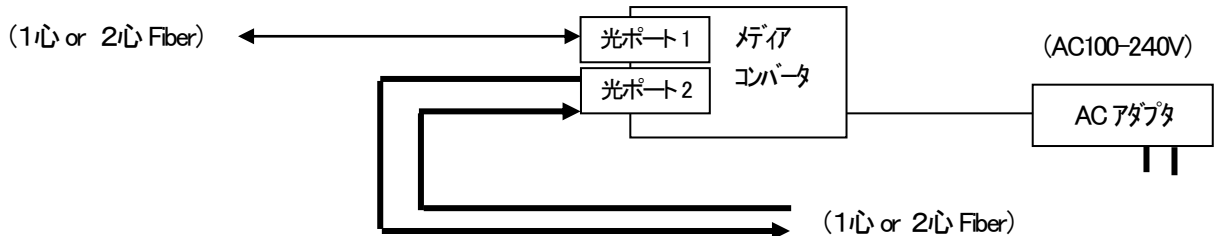
本仕様書は環境対応100BASE-FX、1000BASE-X/100BASE-FX、1000BASE-X SFP対応 リモート監視機能付メディアコンバータ(DN6700E)について規定します。

本仕様に関しては改良等の理由で変更する可能性があります。

## 2. 機能概要

本装置は光ファイバによる100BASE-FX/1000BASE-Xの信号を物理層レベルで変換する環境対応単体型リモート監視機能付メディアコンバータです。

(製品の構成)



## 3. 品名及び型番

品名と型番は次のとおりとします。

品名	環境対応100/1000BASE-X/X SFP対応 リモート監視機能付メディアコンバータ		
		光ポート1	光ポート2
型番	DN6700E	100BASE-FX SFP /1000BASE-X SFP	100BASE-FX SFP /1000BASE-X SFP

\*:専用ACアダプタまたは別売ラックオプション(DNHD12E等)に搭載してご使用下さい。

光側が100BASE-X SFP実装時には、DN1700E(100BASE-FX SFP実装)・DN2800Eシリーズ・DN5520E(100BASE-FX SFP実装)・DN5700Eシリーズ・DN5800Eシリーズ・DN6700E(100BASE-FX SFP実装)・DN6800Eシリーズ(FastEthernetモード設定時)等と接続してご使用下さい。

光側が1000BASE-X SFP実装時には、DN1700E(1000BASE-X SFP実装)・DN1800Eシリーズ・DN5520E(1000BASE-X SFP実装)・DN5810Eシリーズ・DN6700E(1000BASE-X SFP実装)・DN6810Eシリーズ(GigaEthernetモード設定時)等と接続してご使用下さい。

光ポートの詳細仕様につきましてはSFP仕様書を参照して下さい。

※1000BASE-T、10/100BASE-TX用のSFPは使用できません。

## 4. 機能

DN6700Eは以下の機能を備えるものとします。

光伝送	100BASE-X / 1000BASE-XのSFPモジュールを介して送受信を行うポートを2つ備えます。(100M時は100M全二重固定、1000M時はAutonegotiationで動作します)
転送速度	リピータ構成をとっており全転送はハードウェアにて処理していますので、フルワイヤ速度のパフォーマンスを実現しています。 最大フレーム長は100M時4500Byte、1000M時10000Byteです。
リンク連動	光ポートのリンクが切れた場合、その経路の対向側への出力を停止します。この機能は設定スイッチにより許可されます。
リモートMC監視	同製品を光側対向として接続した場合又はDN1700Eと接続した場合、設定スイッチによりLEDでのリモート側MCの設定状態や動作状態を確認することが可能です。
リモートMC設定	同製品を光側対向として接続した場合又はDN1700Eと接続した場合、SNMP実装のラックオプションと組み合わせることでリモート側MCの設定を変更することが可能です。
ループバック試験機能	同製品を光側対向として接続した場合又はDN1700Eと接続した場合、設定スイッチまたはSNMP実装のラックオプションとの組み合わせにより光側対向器のループバック試験が可能です。
光1000M固定設定	SNMP実装のラックオプションと組み合わせることで1000M時に光ポートを1000M固定に設定可能です。 ※1,2,3

SFP監視機能	SNMP実装のラックオプションと組み合わせることで本装置に実装しているSFPの状態(温度、発光レベル、受光レベル、電圧、バイアス電流等)読込が可能です。 ※4
SFP遠隔リセット機能	SNMP実装のラックオプションと組み合わせることで本装置に実装しているSFPを遠隔よりOn/Off、リセットが可能です。 ※1,2,5
MC遠隔リセット機能	SNMP実装のラックオプションと組み合わせることで本装置を遠隔よりOn/Off、リセットが可能です。 ※1,2,6
ラック収納	ラックオプション(DNHD12E等)と組み合わせる事で19インチラックやDINレールに収納が可能です。

※SNMP実装のラックオプション又はDN9830E/DN9840Eにて本装置を監視する場合は、SNMPⅢ(FirmV2.00以降)又はDN9830E(FirmV1.00以降)/DN9840E(FirmV1.00以降)をご使用下さい。SNMP,SNMPⅡ,SNMPⅢ(FirmV1.00)では対応しておりません。

※1:SNMPⅢ(FirmV3.00以降)、DN9830E(FirmV2.00以降)、DN9840E(FirmV3.00以降)にて対応します(詳細については、各取扱説明書を参照下さい)。

※2:DN6700E(RevA~C)では対応しておりません。

※3:端末時、単体時のOPT1ポートのみ設定可能です。

※4:DM機能付のSFPを使用した場合のみ対応します。

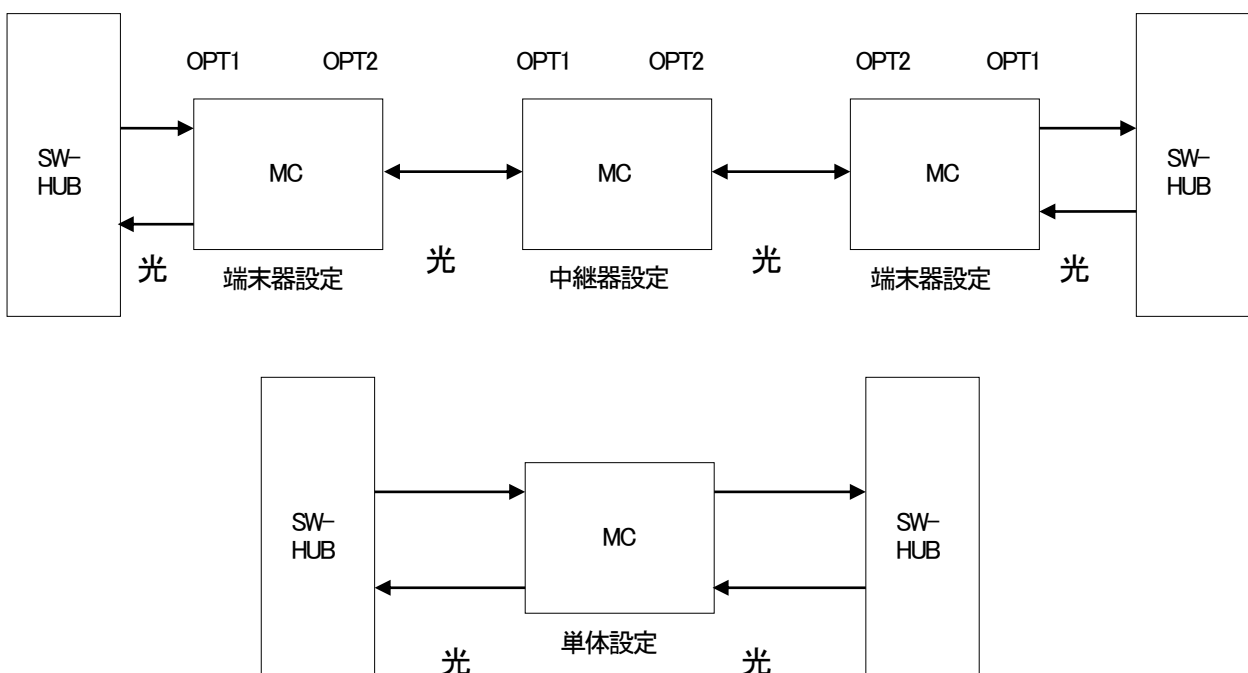
※5:ポート毎に設定可能です。Off設定時に対応するポートはリンクダウンするため通信はできません。そのため、リモート監視、リモート設定、ループバック試験の各機能も使用できません。

※6:Off設定時でもMCの監視は可能です。ただし、対向機器側での電源異常検知はできません。Offまたはリセット設定時は、SFP(両ポート)も同様にOffまたはリセットとなり、リンクダウンするため通信はできません。そのため、リモート監視、リモート設定、ループバック試験の各機能も使用できません。

## 5. モード機能

本装置には動作モードが3種類(端末(End)、中継(Middle)、単体(Single))あります。各用途に適した設定で使用下さい。

- ・**端末(End)**:SW-HUB等の端末器と接続する場合に設定して下さい。OPT1側を端末器と接続することでOPT2側の機器の監視が可能になります(詳細は7. リモート監視機能を参照下さい)。  
カスケード接続台数は2台以下となります(LPT有効時。4台以上でのBack to Back接続でのLPTは正常に動作しないため)。
- ・**中継(Middle)**:6700端末や1700Eの伝送路間に接続する場合に設定して下さい。OPT1,2側の端末側機器の監視が可能です。また、OAM Enable設定時には、端末器からの監視対象MCとなります(詳細は7. リモート監視機能を参照下さい)。  
カスケード接続台数は10台以下となります。
- ・**単体(Single)**:SW-HUB間等での光⇄光変換時に設定して下さい。OAMIは非対応になり、監視やループバック試験等はできません。  
カスケード接続台数は10台以下となります(LPT無効時。LPT有効時は1台のみでの使用となります)。



## 6. リンク連動(Link Pass Through)機能

本装置にはリンク連動(以下LPT)機能があります。LPT機能とは、メディアコンバータ(以下MC)で受信のリンク断を検出した場合にMCの送信をOFFにする機能です。この機能により、MCを挟んで対向するSW-HUB間等の伝送路が切断されたときなど、両方のSW-HUBが伝送路の切断を認識できます。例えばSW-HUBのマルチポートランキング機能を伝送路のバックアップとして使う場合、この機能がないと断線時などに正常な伝送ができない場合があります。

LPT機能は各動作モードにおいて正常に動作する条件が異なります。

- ・末端(End) : OPT2側の対向機器が1700E又は6700E端末設定の場合のみ動作します(6700中継設定や6800Eシリーズ/6810Eシリーズが間に入っても動作します)。OPT1側を必ずSW-HUB等の端末機器と接続して下さい。4台以上でのBack to Back接続でのLPTは正常に動作致しません。
- ・中継(Middle) : OPT1,2側の対向機器が1700E又は6700E端末設定の場合のみ動作します(6700中継設定や6800Eシリーズ/6810Eシリーズが間に入っても動作します)。中継設定のMCは伝送路内に10台までです。
- ・単体(Single) : SW-HUB等に必ず1台にて接続して下さい。

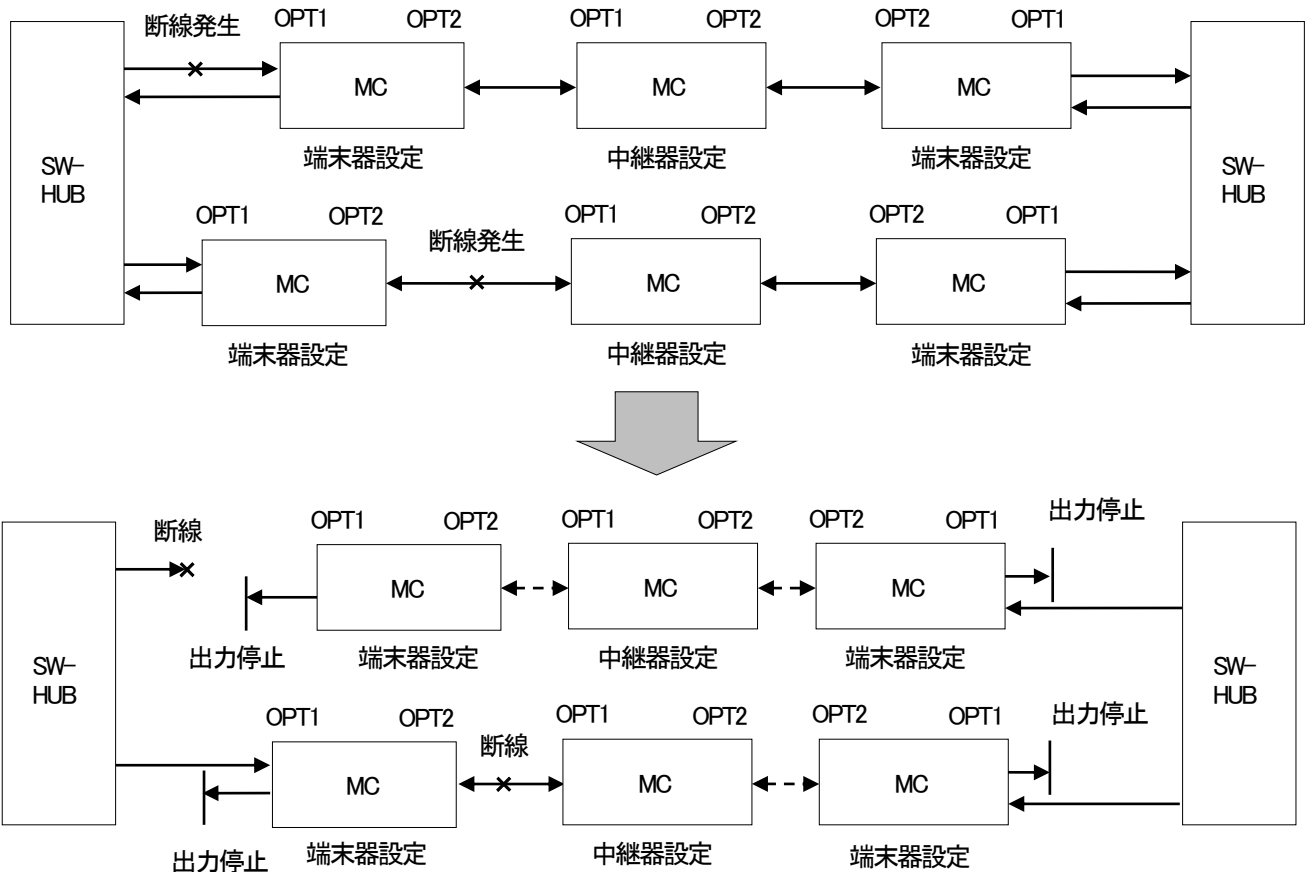
※6700E中継設定や6800Eシリーズ/6810Eシリーズが間に入っても動作します。

※SW-HUB等の端末機器の設定が1000M固定設定時には正常に動作致しません。また、100M時に端末機器がFar End Fault非対応の場合は一心断時に正常に動作しないことがあります。

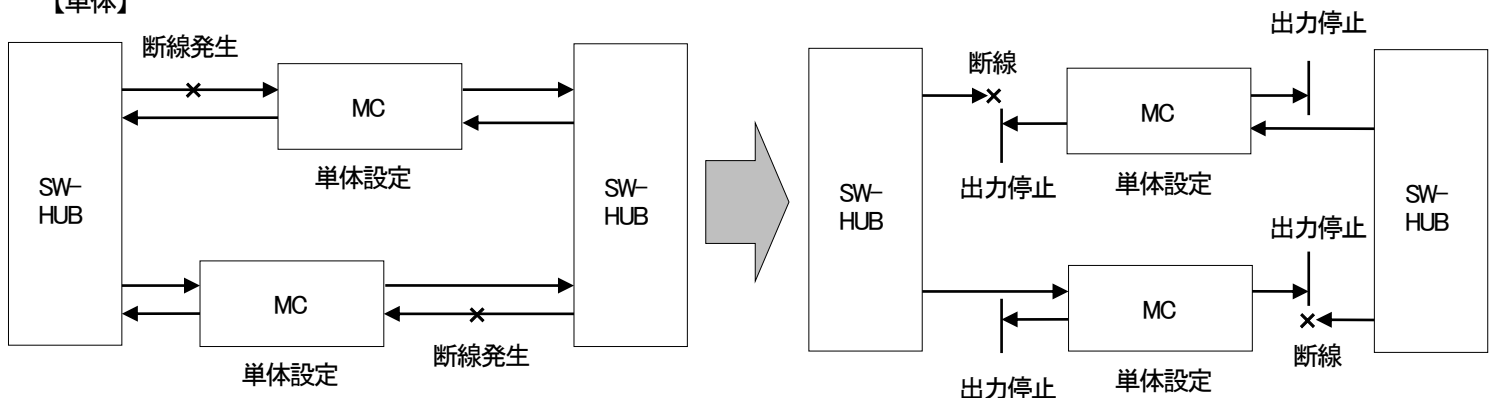
※端末設定、中継設定時は大電製の1700E、6700E以外のMCとのLPTは正常に動作致しませんのでご注意ください。

※あらかじめ相互接続試験を行うことをお勧めします。

### 【端末中継】



### 【単体】



## 7. リモート監視機能

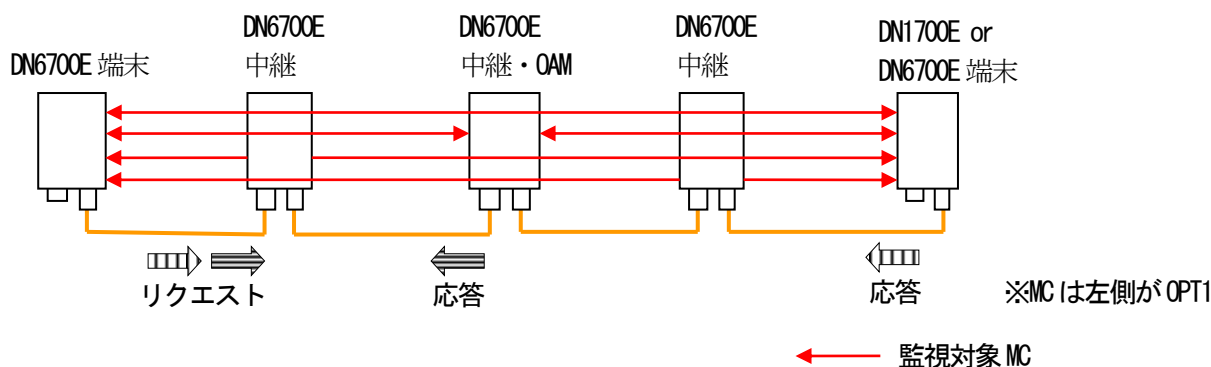
本装置にはリモート監視機能があります。リモート監視機能とは、管理パケット(OAM)のやり取りによって、光側対向MCの速度設定状態や動作状態、リンク状態を監視する機能です。各状態は側面SWのR-StateSWをONにすることで、本装置のLEDで確認が可能となります。リモート監視機能の対象は、1700Eおよび6700Eのみとなります(6800Eシリーズ/6810Eシリーズが間に入っても監視機能は有効です)。

リモート監視機能については各動作モードにおいて正常に動作する条件が異なります。

- ・末端(End) : OPT2側の対向機器が1700E又は6700E端末設定/中継(OAM Enable)設定の場合のみ動作します。OPT1側を必ずSW+HUB等の端末機器と接続して下さい。OAM SWの設定は反映されず、常にOAM機能はONとなります。
- ・中継(Middle) : OPT1,2側の対向機器が1700E又は6700E端末設定の場合のみ動作します。OAM機能をOFFでも監視は可能です(端末器側からの監視は不可となります)。中継設定は伝送路内に何台実装しても動作には影響ありませんが、OAM機能をONにするMCは1台として下さい。
- ・単体(Single) : 監視機能はありません。OAM SWの設定は反映されず、常にOAM機能はOFFとなります。

※OAMはデータフレーム間に挿入しますので通常の通信には影響を与えません。端末時にOPT1側の対向機器へOAMが漏れることもありません(OAMは大電独自の packets です)。

※SNMPでの監視機能は、SNMP III (FirmV2.00以降)、DN9830E (FirmV1.00以降)/DN9840E (FirmV1.00以降)での対応となり、SNMP II、SNMP III (FirmV1.00)では非対応となります(詳細については、ラックの取扱説明書を参照下さい)。



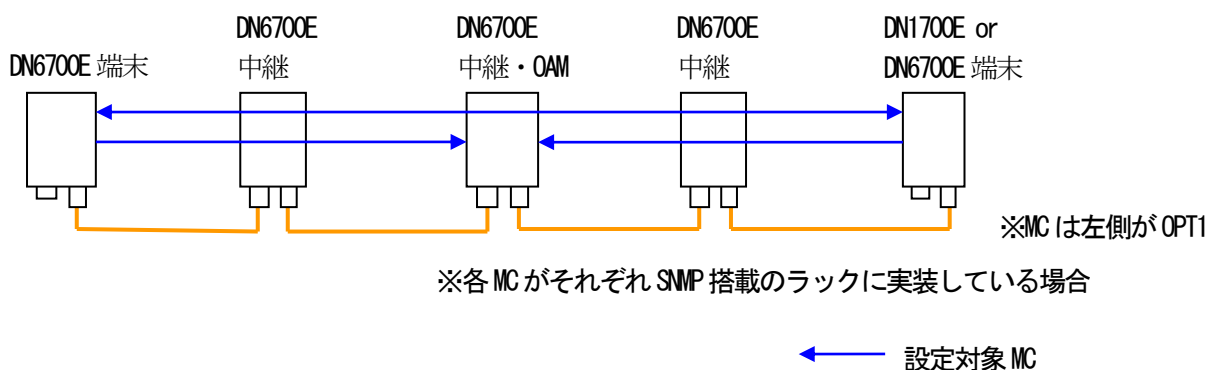
## 8. リモート設定機能

本装置をSNMP搭載のラック実装にて、光側対向MCの設定も可能です。

リモート設定機能については各動作モードにおいて正常に動作する条件が異なります。

- ・末端(End) : OPT2側の対向機器が1700E又は6700E端末設定/中継(OAM Enable)設定の場合のみ動作します。OPT1側を必ずSW+HUB等の端末機器と接続して下さい。
- ・中継(Middle) : リモート設定機能はありません。
- ・単体(Single) : リモート設定機能はありません。

※SNMPでの設定機能は、SNMP III (FirmV2.00以降)、DN9830E (FirmV1.00以降)/DN9840E (FirmV1.00以降)での対応となり、SNMP II、SNMP III (FirmV1.00)では非対応となります(詳細については、ラックの取扱説明書を参照下さい)。



## 9. ループバック試験機能

本装置にはループバック試験機能があります。ループバック試験機能とは、光側でのテストパケットの伝送により光伝送路の異常がないかを確認する機能です。ループバックON設定時に一度だけループバック試験を実施します。試験結果については設定がOFFになるまで保持され、LEDにて表示します。ループバック試験の対象は、1700E又は6700E端末設定のみとなります(6800Eシリーズ/6810Eシリーズが間に入ってもループバック試験機能は有効です)。

ループバック試験機能については各動作モードにおいて正常に動作する条件が異なります。

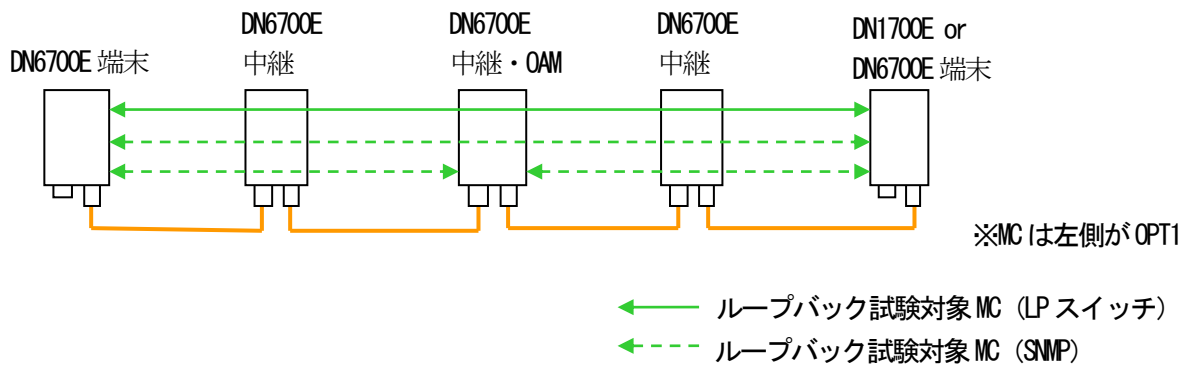
- ・端末(End) : OPT2側の対向機器が1700E又は6700E端末設定の場合に、1700E又は6700E端末設定宛にループバック試験を実施します。
- ・中継(Middle) : ループバック試験機能はありません。ループバックON設定をするとNGの結果表示となります。
- ・単体(Single) : ループバック試験機能はありません。ループバックON設定をするとNGの結果表示となります。

また、本装置をSNMP搭載のラック実装にて、ループバック試験も可能です。SNMPからのループバック試験では、6700E中継設定宛のループバック試験や6700E中継からのループバック試験も可能となります。

※ループバック試験はOAMIにて行いますので通常の通信には影響を与えません。

※LPT有効時にリンクダウン状態でも伝送路が繋がっていればループバック試験可能です。

※SNMPでのループバック試験は、SNMP III (FirmV2.00以降)、DN9830E (FirmV1.00以降)/DN9840E (FirmV1.00以降)での対応となり、SNMPやSNMP II、SNMP III (FirmV1.00)では非対応となります(詳細については、ラックの取扱説明書を参照下さい)。



9. 仕様  
(装置仕様)

環境条件	性能保証温度	-10°C ~ 55°C (-10°C ~ 50°C)※1 (-10°C ~ 45°C)※2
	動作保証温度	-20°C ~ 60°C (-20°C ~ 55°C)※1 (-20°C ~ 50°C)※2
	動作及び保存湿度	95%RH以下(但し、結露なきこと)
	保存温度	-20°C ~ 60°C
構造	外形寸法	W54mm×H198mm×D100mm (固定用ホルダ部及び突起部除く)
	質量	110g以下 (固定用ホルダ部及び磁石ケース含む) 70g以下 (本体のみ)
DC電源定格	定格入力電圧	DC3.3V
	消費電流	1.5A以下(0.8A:Typ)
	電圧範囲	DC3.15 ~ 3.5V
	消費電力(DC部)	5W以下(*)
AC電源定格 (ACアダプタ)	定格入力電圧	AC100-240V※3
	定格入力周波数	50/60Hz
	電圧範囲	AC90 ~ 264V
	皮相電力(無効電力含む)	10VA以下(@100V時)(*)

※1:1000M動作時にEOLS-1612-39XDI6(X=K~R)のSFPを1台搭載した場合の保証温度です。

※2:1000M動作時にEOLS-1612-39XDI6(X=K~R)のSFPを2台搭載した場合の保証温度です。

※3:AC電源プラグはAC100V対応です。

※:ラックオプションに実装して使用する場合は、ラックオプションの環境条件に従って下さい。

動作保証温度時: \*印部に関しては仕様値内に収まらない可能性があります。(動作に問題はありません。)

(仕様細目)

型番		DN6700E	
OPTポート部	規格	100M: IEEE802.3u 100BASE-FX 1000M: IEEE802.3z 1000BASE-X	
	伝送速度	100Mbps / 1000Mbps	
	伝送方式	全二重方式	
	伝送符号	100M: 4B5B符号 1000M: 8B10B符号	
	適合インターフェイス	SFP MSA (※1)	
LED表示	Pow/MODE	電源供給時に点灯(中継器時: 緑、端末器時、単体時: 橙) ／[中継時]: OPT1対向側からの電源異常時に点滅(緑、点灯: 消灯=2:1) OPT2対向側からの電源異常時に点滅(緑、点灯: 消灯=1:2) ／[端末時]: 中継からの電源異常時に点滅(橙、点灯: 消灯=2:1) 端末からの電源異常時に点滅(橙、点灯: 消灯=1:2) (※2)	
	OPT1	通常時: OPT1側 アイドル信号受信時に点灯(1000M時: 緑、100M時: 橙) ／データ送受信時に高速点滅(1000M時: 緑、100M時: 橙) ／SignalDetect時に低速点滅(1000M時: 緑、100M時: 橙) (※3) (上面及び前面の2箇所に配置) (※4)	
		リモート監視時: 対象リモートMC=1700時 TXポートリンクアップ時に点灯(1000M: 緑、100M: 橙) ／SignalDetect時に低速点滅(1000M時: 緑、100M時: 橙) (※3) ／対象リモートMC=6700時 OPT1ポートリンクアップ時に点灯(1000M: 緑、100M: 橙) ／SignalDetect時に低速点滅(1000M時: 緑、100M時: 橙) (※3)	
	OPT2	OPT2側 アイドル信号受信時に点灯(1000M時: 緑、100M時: 橙) ／データ送受信時に高速点滅(1000M時: 緑、100M時: 橙) ／SignalDetect時に低速点滅(1000M時: 緑、100M時: 橙) (※3) (上面及び前面の2箇所に配置) (※4)	
STATUS	通常時: MC 正常時に点灯(緑)／異常時に消灯		
	ループバック試験時: 試験結果 OK 時に点灯(緑)／試験結果 NG 時に点滅(緑) ／ループバック非対象モード時消灯(※5)		
	リモート監視時: リモート MC 状態正常取得時に点灯(橙)／取得エラー時に点滅(橙) (※6)		
設定スイッチ	前面	LPT	押上時: リンク連動(LPT)機能 OFF ／押下時: リンク連動(LPT)機能 ON
		LP	押上時: Loopback 試験 OFF ／押下時: Loopback 試験 ON (※7)
		OAM	押上時: OAM 機能 OFF ／押下時: OAM 機能 ON (※8)
	背面	1000M/100M	押上時: 1000M 設定 ／押下時: 100M 設定 (※9)
		MODE (3,4)	MODE(3) 押上時: 中継設定 MODE(3) 押下 & MODE(4) 押上時: 端末設定／MODE(3) 押下 & MODE(4) 押下時: 単体設定
	側面	R_State	端末時: 前方時: LED 表示=本体 状態 ／中央時: LED 表示=中継器状態 ／後方時: LED 表示=端末接続器状態 (※10)
			中継時: 前方時: LED 表示=本体 状態 ／中央時: LED 表示=OPT1 側対向機器状態 ／後方時: LED 表示=OPT2 側対向機器状態 (※10)
最大パケット長		100M: 4500Byte 1000M: 10000Byte	
接続台数		カスケード接続台数2台以下(端末設定、LPT有効時の6700E端末設定の数) (※11) カスケード接続台数10台以下(中継/単体設定時)	
付属品		固定用ホルダ、磁石ケース(固定用リチウム電池取付け済)、ACアダプタ(3.3V・20AType)	
発熱量		最大17820J/H(本体のみ)ー平均9500J/H(本体のみ)	
ケース色		PANTONE3165U(相当色)	



ケ ー ス 材 質	難燃性PC
ケ ー ス 難 燃 性	UL94-V0
イ ミ ュ ニ テ ィ 特 性	CISPR24準拠(※12)
放 射 ノ イ ズ 規 格	VCCI-ClassA
環 境 特 性	RoHS2対応(※13)

※1: 使用するSFPによっては、準拠する規格がシグナリングのみとなる場合があります。

なお、当社のラインナップ品(SFP)との組合せ時のみ動作保証します。ただし、1000BASE-T、10/100BASE-TX用のSFPは使用できません。

※2: LED表示モードによらず、リモート側MCに電源異常が発生した場合に点滅します。ただし、光側対向機器が本装置と同製品またはDN1700Eの場合のみとなります(単体時はリモートMCからの電源異常時は対応しません)。

※3: SignalDetect状態は、LinkUpはしませんが対向側機器からの信号を検出している状態です。

※4: 上面のLEDは100M動作時も緑にて点灯・点滅します。

※5: STATUS LEDでのループバック試験結果の表示は、LPスイッチがOFFになるまで保持されOFFになるとクリアされます。

リモート監視時にループバック試験を行った場合は、ループバック試験結果が優先されて表示されます。

LPスイッチでのループバック試験は端末設定時しか動作しないため、他のモードで使用するとLEDは消灯となります。

※6: RStateスイッチにて設定された監視対象MCの状態取得結果を表示します。中継器設定時はOAM機能の有効/無効によらず監視可能です。端末器設定にてOPT1対向側の監視はできません(STATUS LEDは点滅となります)。また、単体設定時はいずれも監視できません。

※7: ループバック試験はON設定時に一度だけ行います。再度ループバック試験を行う場合は、一度スイッチをOFF設定後にONに設定して行って下さい(試験結果はOFF設定になるまでLEDにて表示します)。

出荷時の設定はOFF設定です。

※8: OAM機能の有効/無効の設定は中継器設定の場合のみです。端末設定時はOAM機能設定スイッチに関わらず常に有効になり、単体設定時は常に無効になります。

出荷時の設定はON設定です。

※9: 1000M/100Mの切替はOPT1部OPT2部共通です。実装するSFPに合った速度に設定して下さい。

出荷時の設定は1000M設定です。

※10: 光側対向機器が本装置と同製品または1700Eの場合のみリモート側の状態表示が可能です。その他の機器と対向についてLEDをリモート状態表示モードに設定した場合や、本装置と同製品でリモート状態が監視できない場合(リモート側の電源異常や、光側のLinkが確立されていない等)、STATUS LEDが点滅(=取得エラー表示)、Pow/Mode LED以外のLEDは消灯します。

出荷時の設定は本体状態表示設定です。

※11: LPT有効時の6700E 端末設定の台数です。6700E 中継や6800E シリーズ/6810E シリーズは数に含みません。

※12: CISPR24は情報技術装置のイミュニティ特性に関する限度値と測定方法を規定しています。

静電気・放射性無線周波数電磁界・電氣的ファストランジェントバースト・サージ・無線周波数コモンモード・電圧ディップ瞬停・商用周波数磁界に対しての耐力を規定しています。

※13: 表1に示す化学物質については下記の通り管理致します。

表 1. RoHS2 規制物質及び閾値の概要

化学物質群名	用途または対象	閾値(質量比)
カドミウム及びその化合物	包装材以外(*1)	100ppm
鉛及びその化合物(*2)	下記以外(*1)	1000ppm
	鋼材	3500ppm
	アルミニウム合金	4000ppm
	銅合金	40000ppm
水銀及びその化合物	包装材以外(*1)	1000ppm
六価クロム化合物	包装材以外(*1)	1000ppm
ポリ臭素化ビフェニル類(PBB)	全て	1000ppm
ポリ臭化ジフェニルエーテル類(PBDE)	全て	1000ppm
フタル酸ジニエチルヘキシル類(DEHP)	全て	1000ppm
フタル酸ブチルベンジル類(BBP)	全て	1000ppm
フタル酸ジブチル類(DBP)	全て	1000ppm
フタル酸ジイソブチル類(DIBP)	全て	1000ppm

\*1 包装材は、カドミウム・鉛・水銀・六価クロムの4重金属を合わせて 100ppm 以下です。

\*2 電子部品中の内部接続用高融点半田、電子部品中のガラス、電子セラミックス部品などに含まれる鉛は対象外です。

## 10. 表示及び包装

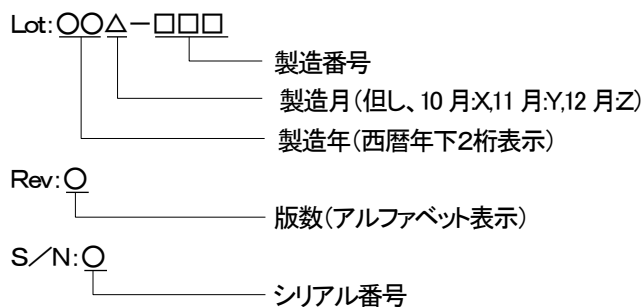
### (1)コーポレートロゴシール

本体にはコーポレートロゴを貼付けます。  
表示位置は外観図を参照下さい。

### (2)型番シール及びロットシール

型番シールには型番を表示します。ロットシールには、警告内容、VCCI表示、ロットNo、製造社名を表示します。  
表示位置は外観図を参照下さい。

#### 【ロットNo. 表示内容の説明】



### (3)包装

製品本体、付属品を個装段ボール(内箱)に包装し、個装段ボールは運搬中損傷しないよう適切な段ボールに包装します。

### (4)包装への表示

内箱には、型番、製造社名及び製品のロット番号を表示した内箱シールを貼付けます。

## 11. 保証

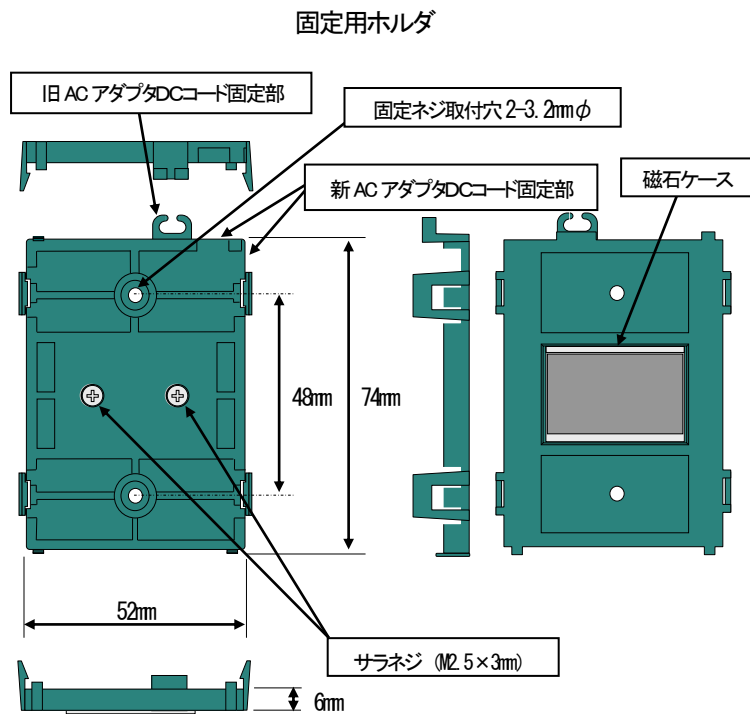
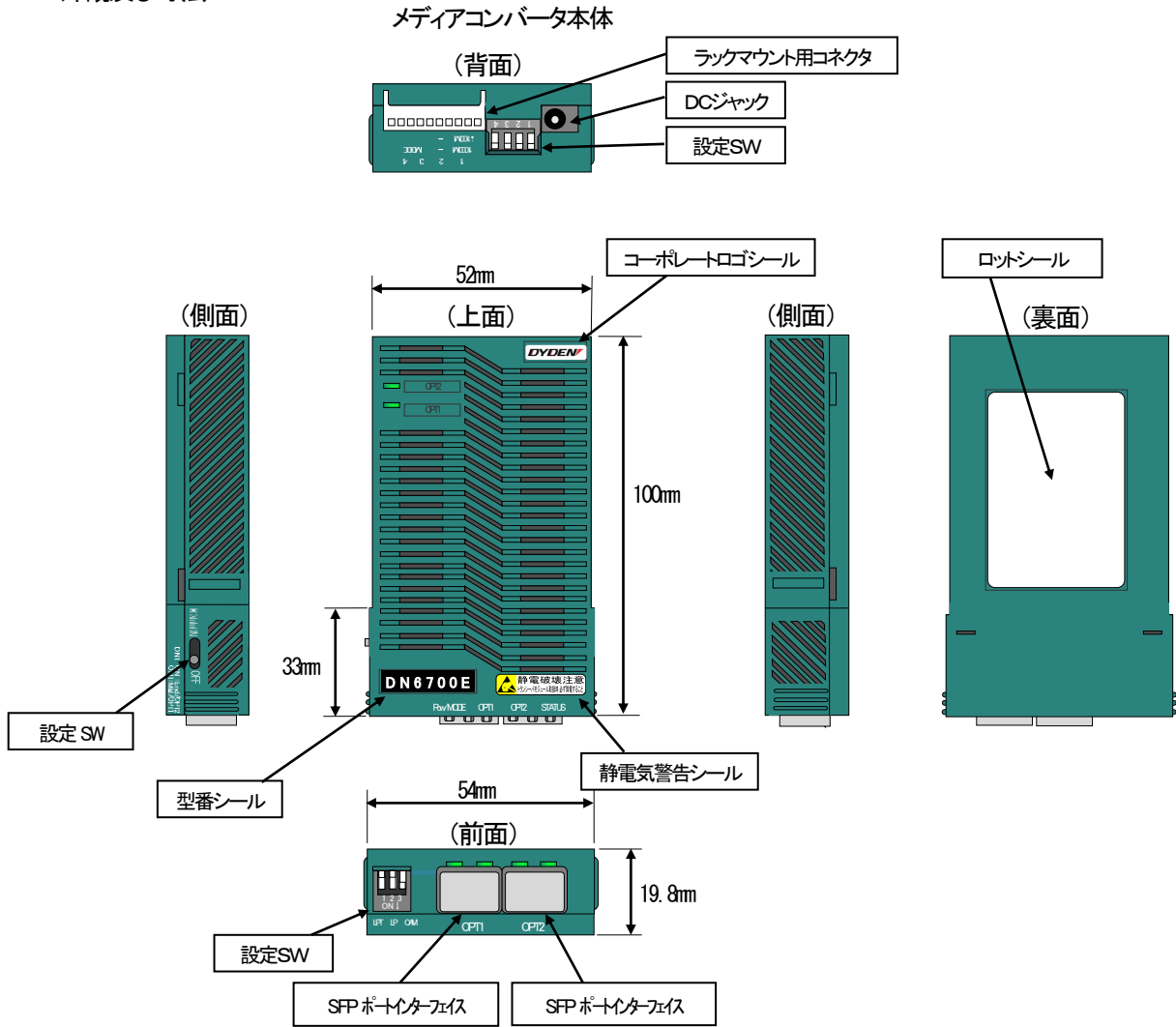
### (保証内容)

保証期間内に設計製作上の不備により破損又は故障が発生した場合は、無償で交換を行うものとします。

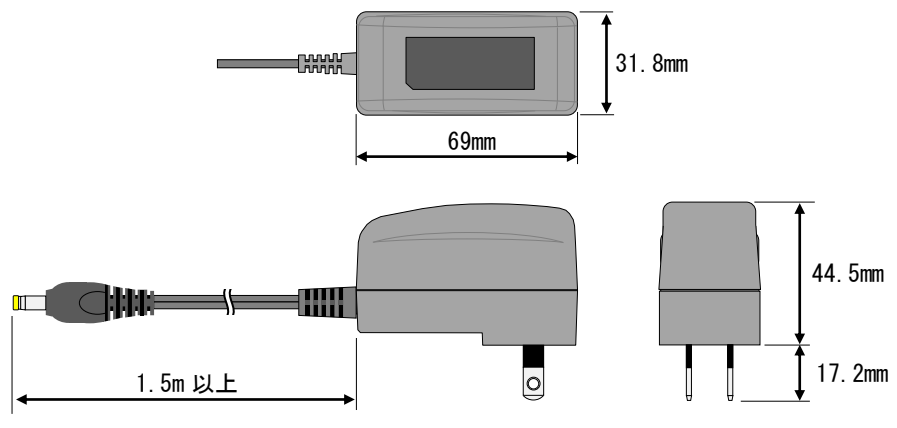
### (保証期間)

当社出荷日起算から6年間

## 12. 外観及び寸法

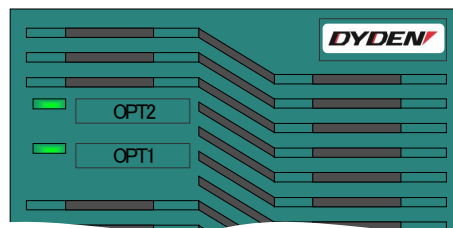


ACアダプタ

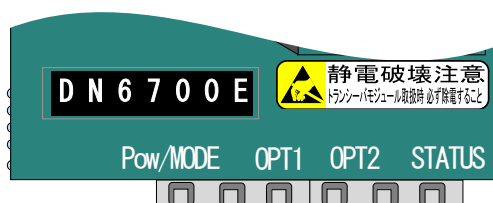


### 13. 表示

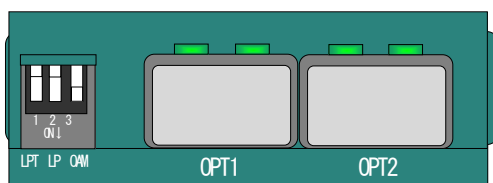
(1)上面(LED用)表示文字



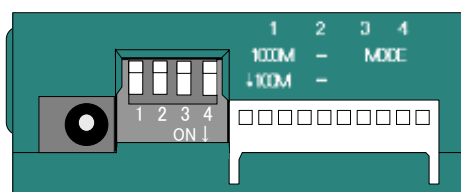
(2)上面(LED用)印刷文字



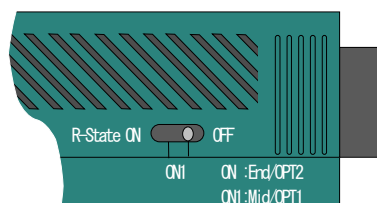
(3)前面(LED用)印刷文字



(4)背面(設定SW用)印刷文字



(5)側面(設定SW用)印刷文字



以上

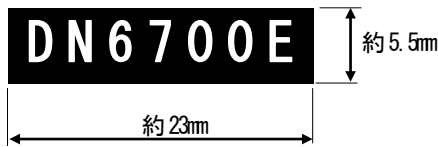
参考)シール表示

(1)コーポレートロゴシール  
表示例)



コーポレートロゴシール

(2)型番シール及びロットシール  
表示例)



型番シール



静電気警告シール

MODE 設定	3	4	OAM
Middle (中継)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	OAM 設定 SW
End (端末)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	Enable (OPT2)
Single (単体)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	Disable

**警告**  
 クラス1レーザー製品  
 必ず専用電源を使用して下さい。  
 (詳細は取扱説明書の注意事項を参照)

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講じるよう要求されることがあります。VCCI-A

Lot:\*\*\*-\*\*\* Rev.\* S/N:\*

製造社 **DYDEN**  
 大電株式会社

ロットシール

(3)内箱シール  
表示例)

**DYDEN**  
DYDEN CORPORATION

**DN6700E**

製番 F\*\*\*\*\* Lot No. \*\*\*-\*\*\* Rev.\* S/N\*

回 検 回  
Sample  
回 検 回

**静電破壊注意**  
このシールを破損せず取扱い

内箱シール

改版履歴

2024年4月1日

版数	日付	改版内容
NWSP12-6700E-01	2012年9月	・初版
NWSP18-6700E-01A	2018年8月	・ACアダプタ変更 ・内箱シール変更
NWSP22-6700E-01B	2022年8月	・温度保証追記(EOLS-1612-39XDI6) ・設定SW変更 ・SNMPに9830,9840を追加 ・保証期間文言の修正 ・RoHS2対応
NWSP22-6700E-01C	2022年12月	・機能追加(光1000M固定、SFP遠隔リセット、MC遠隔リセット) ・静電気警告シール追加 ・ACアダプタ寸法修正
NWSP24-6700E-01D	2024年4月	・コーポレートロゴ変更・commnio削除に伴い、ブランド・ロット・内箱シールを変更 ・AC電源プラグの注釈を追加 ・環境シール削除 ・保証期間を6年に変更 ・ACアダプタ図を色付きに変更 ・内箱シールに「静電気破壊注意」表示を追加 ・寸法のフォントを変更